



トナカイとともに生きる

飛行機を乗り継ぎ、車で10時間以上走り、トナカイの背に乗って1泊2日。モンゴル最北部のタイガ(針葉樹林帯)にある、トナカイ飼育を生業とするトゥバ人一族の営地を訪ねた。広大な北の自然は、荘厳で光輝き、畏怖を覚えるほどの美しさに満ちていたが、滞在中にトナカイ2頭が狼の犠牲になるなど大変厳しいものだった。そんな大自然に溶け込んだ彼らの生活は、生き抜くための知恵の集積であり文化そのものであった。彼らの生き様に触れて、真に豊かな人生とは何か、ということを改めて考えさせられた。

会員 野間 白子 (38期)